

守りたい人がいる 守りたい町がある

地域を守る消防団

町には自分たちの町を災害のない町、災害に負けない町にしようと、防災活動を行っている消防団があります。



「みんなの力で 安全なまちを」

消防団は、住民の生命・身体・財産を守るため、昼夜を問わず献身的に地域の防災活動に貢献しています。また、平常時にも消防訓練や警戒活動などを行い、災害から町を守っています。

地域の安全を支える消防団

消防団員はそれぞれの職業を持っていますが、いざ火災や災害が発生すると現場にかけつけ活動にあたっています。

町消防団は、消防団本部と8分団(27部)から編成され、団員数は528人で、20歳代から60歳代までの幅広い年齢で構成されています。

消防団員は、地域から推薦を受けて消防団長から任命されます。身分は非常勤特別職の地方公務員となります。

消防団員の役割は突然起こる災害から住民を守ること。火災発生時の消火活動はもとより、風水害や地震などの災害における防災活動・避難誘導活動なども行います。地域を熟知してい

るからこそ対応ができる、その役割は重要です。消防団活動はひとつ間違えれば危険を伴う任務ですが、団員は「地元を守る」という郷土愛護の精神で日々活動を行っています。

町消防団の主な行事

- 4月 幹部教養訓練
- 5月 消防操法・規律訓練
- 6月 町消防ポンプ操法大会
- 9月 防災訓練
- 11月 秋季火災予防運動 防火パレード (警戒・広報活動)
- 12月 歳末警戒
- 1月 消防出初式
- 3月 春季火災予防運動 防火パレード (警戒・広報活動)

消防団への理解と協力を！

消防団は、地域の住民が団員として参加し、地域に根ざした防火・防災活動を行う組織です。新潟県中越地震などの震災や台風、豪雨による水害などが発生し

た際にも、各地の消防団員は住民の避難誘導や救助活動などに従事し、被害軽減に貢献しました。自然災害が多い日本では「自分たちのまちを自分たちで守る」地域住民による消防団活動が不可欠であり、今後も、円滑な消防活動を行うためみなさんのご理解と後継者の確保・育成が必要です。で、ご協力をお願いします。

みんなで火災を防ぐ

これから、空気が乾燥し火災の発生しやすいシーズンを迎えるにあたり、火災発生を防止するため、みなさんも火の取り扱いには十分注意しましょう。



▲11月9日の防火パレード